

指 定 管 理 業 務 点 検・評 価 シ ー ト（令和6年度業務）

令和7年7月4日

施 設 名	とっとりバイオフィロンティア	所在地	米子市西町86番地
施設所管課名	商工労働部産業未来創造課	連絡先	0857-26-7564
指定管理者名	公益財団法人鳥取県産業振興機構	指定期間	令和6年度～令和10年度

1 施設の概要

設置目的	バイオ産業の集積の形成及び活性化を図り、県内産業の振興に寄与する。
設置年月日	平成23年4月1日
施設内容	○建築面積：1,260.84㎡ ○施設内容：研修室1、機器分析室1、遺伝子実験室1、細胞実験室1、実験室4、居室4、動物飼育室4、管理室1、オープンラボ1
利用料金	（別表のとおり）
開館時間	午前9時～午後5時 ただし、セキュリティカードを使用することで、開館時間外の利用も可能な場合あり。
休館日	○日曜日、土曜日、国民の祝日 ○12月29日～1月3日 ただし、セキュリティカードを使用することで、休館日の利用も可能な場合あり。

2 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	○施設設備の維持管理に関する業務（施設設備の保守管理、修繕、清掃、保安警備等） ○施設設備、機器の利用の許可、利用料金の徴収等に関する業務 ○その他施設の管理運営に必要な業務（利用者の受付・案内、付属設備・備品の貸出、利用指導・操作、利用者へのサービスの提供、施設の利用促進、その他施設の管理運営に必要な業務） ○利用者の研究開発・事業化の支援に関する業務（相談・問い合わせへの対応、情報収集・情報提供、産学官連携の推進等） ○バイオ産業に従事する専門的な人材の育成に関する業務
---------	---

3 施設の管理体制

管理体制	シニア職員：1名、プロパー職員：1名、無期職員：1名、任期付職員：7名、業務委託職員：1名〔計11名〕
	【体制図等】 施設長（機構バイオフィロンティア推進室室長兼務、シニア職員） - 副室長兼副施設長（任期付職員） - 総務管理スタッフ（任期付職員）（R6.4～R7.3育休） - 機器担当スタッフ（無期職員） - 会計担当スタッフ（任期付職員、機構本部駐在） - チーフコーディネーター（兼事業推進担当、任期付職員） - バイオフィロンティア推進グループ長（機構本部職員兼務）（R7.2～採用） - コーディネーター（人材育成担当、業務委託職員）（R7.3委託終了） - コーディネーター（人材育成担当、任期付職員）（R7.1～採用） - コーディネーター（研究支援担当、任期付職員）（R6.11～R7.3育休） - コーディネーター（医工連携担当、任期付職員）（R7.1～採用）

4 施設の利用状況

利用者数（人） ※貸実験室等入居者含む		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	R6年度	2,172	2,205	2,239	2,315	2,199	2,167	2,206	2,127	2,243	2,182	2,138	2,258	26,451
	R5年度	1,932	2,109	2,082	2,146	2,052	2,063	2,310	2,274	2,401	2,177	2,234	2,259	26,039
	増減	240	96	157	169	147	104	△104	△147	△158	5	△96	△1	412

利用料金収入 （千円）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	R6年度	1,912	1,464	1,715	1,793	1,921	2,042	1,861	2,017	1,815	2,131	1,592	2,164	22,427
	R5年度	1,156	1,208	1,454	1,536	1,698	1,710	1,724	1,718	1,575	1,693	1,602	1,923	18,997
	増減	756	256	261	257	223	332	137	299	240	438	△10	241	3,430

5 収支の状況 (単位：千円)

区 分			R 6 年度	R 5 年度	増 減
収入	事業収入	賃借料	8, 354	8, 335	19
		機器使用料	4, 511	3, 193	1, 318
		その他	154	154	0
		小 計	13, 019	11, 682	1, 337
	事業外収入	光熱水費 動物飼育管理料負担金収入	9, 311	7, 468	1, 843
		自動販売機手数料	63	61	2
		県委託料	62, 045	65, 410	△ 3, 365
		雑入	0	76	△ 76
		小 計	71, 419	73, 015	△ 1, 596
		計	84, 438	84, 697	△ 259
支出	人 件 費	26, 703	28, 632	△ 1, 929	
	管理運営費	57, 735	56, 065	1, 670	
	計	84, 438	84, 697	△ 259	
収 支 差 額			0	0	

6 労働条件等

確認項目		状況			備考
		無期職員	任期付シニア職員	任期付職員	
雇用契約・ 労使協定	労働条件の書面による提示	就業規則、任用条件 通知書	就業規則、任用条件 通知書	就業規則、任用条件 通知書	※書面の名称を記入
	就業規則の作成状況	有	有	有	※常時10人以上の労働者を使用する場合は作成、届出が必要
	労使協定の締結状況	時間外労働及び休日労働に関する労使協定	時間外労働及び休日労働に関する労使協定	時間外労働及び休日労働に関する労使協定	※労働基準監督署長への届出が必要な協定の有無
労働時間	所定労働時間	7. 75時間以内／日、 38. 75時間以内／週	7. 75時間以内／日、 38. 75時間以内／週	7. 75時間以内／日、 38. 75時間以内／週	※幅がある場合は上限、 下限を記入
	時間管理の手法	自己申告	自己申告	自己申告	※タイムカード、ICカード、 自己申告、使用者の現認 などの別を記入
	休暇、休日の状況	休暇：年20日 休日：毎週土・日曜日、 国民の祝日	休暇：年20日 休日：毎週土・日曜日、 国民の祝日	休暇：年20日 休日：毎週土・日曜日、 国民の祝日	※幅がある場合は上限、 下限を記入
給与	給与金額	274千円／月	327千円／月	208～352千円／月	※平均月額を記入
	最低賃金との比較	適	適	適	※適否を記入
	処遇改善計画との比較	100%	100%	100%	※達成率を記入
	支払い遅延等の有無	無	無	無	※有無を記入
安全衛生	一般健康診断の実施	年1回実施			
	産業医の選任	選任の要否：否	選任状況：選任なし		※規模の要件あり
	安全管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：選任なし		※業種・規模の要件あり
	衛生管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：選任なし		※規模の要件あり
	安全衛生推進者（衛生推進者）の選任	選任の要否：否	選任状況：選任なし		※業種・規模の要件あり

- (参考)
- 労働基準監督署長への届出が必要な労使協定の例（労働基準法に基づくもの）
- ・労働者の貯蓄金をその委託を受けて管理する場合（労働基準法第18条）
 - ・1ヶ月単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の2 就業規則に定めた場合には届出不要）
 - ・1年単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の4、第32条4の2ほか）
 - ・1週間単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の5）
 - ・時間外労働・休日労働（労働基準法第36条 いわゆる「36協定」）
 - ・事業場外労働のみなし労働時間制（労働基準法第38条の2 事業場外労働が法定労働時間内の場合は不要）
 - ・専門業務型裁量労働制（労働基準法第38条の3）

○各種管理者等の業種・規模に係る要件（労働安全衛生法に基づくもの）

種別	業種	規模（常時使用する労働者数）
産業医	全ての業種	50人以上
安全管理者	林業、鉱業、建設業、運送業、清掃業、製造業（物の加工業を含む。）、電気業、ガス業、熱供給業、水道業、通信業、各種商品卸売業、家具・建具・じゅう器等卸売業、各種商品小売業、家具・建具・じゅう器小売業、燃料小売業、旅館業、ゴルフ場業、自動車整備業及び機械修理業	50人以上
衛生管理者	全ての業種	50人～200人（1人選任）
		201人～500人（2人選任）
		501人～1,000人（3人選任）
		1,001人～2,000人（4人選任）
		2,001人～3,000人（5人選任）
		3,001人以上（6人選任）
安全衛生推進者	安全管理者と同じ	10人以上50人未満
衛生推進者	安全管理者の選任を要する業種以外の業種	10人以上50人未満

7 サービスの向上に向けた取組み

区 分	取 組 み 内 容
人材育成	人材育成セミナーはこれまでWEBセミナーが主流であったのに対し、今年度は現地での開催も多く企画した。鳥取大学との共催セミナーにより、会場を鳥取大学の講義室を利用し、受講者の人数も増大した。当日参加できない場合や、繰り返し視聴を希望する受講者への要望に応え、期間限定のアーカイブ視聴も可能とした。 ＜セミナー開催数 12講座 受講者数 延べ563名（アーカイブ視聴も含む）＞ 【内訳】染色体工学技術活用＋リクエスト講座 6回 受講者 279名 バイオビジネス実践＋アントレプレナー講座 2回 受講者 75名 バイオテクニシャン養成講座 4回 受講者 209名 ・染色体工学技術活用＋リクエスト講座では、AIやバイオインフォマティクス話題を取り扱った。今後、医療や創薬におけるAI活用は盛んになっていくため、受講者の関心も高かった。 ・バイオビジネス実践＋アントレプレナー講座では、起業に至るプロセスからビジネスのアイデアと技術の結びつきによる成功例に基づき、新たな視点のキャリア形成について学ぶことができ、起業に関心のある受講者にとって、有益なものであった。 ・バイオテクニシャン養成講座では、受講者のスキル向上と先進機器を使用した新規技術の習熟に効果があり、「新技術勉強会」に加え、バイオフィロントニア内の機器を使った実習も開催し、大変好評を得た。
設備整備	・施設の外壁の一部にひび割れ破損箇所（R4.1）があったことから調査の上、全外壁の改修を実施した（R6.11～R7.2月末）。 ・R6年夏頃、開放機器及び館内複数箇所で天井から結露による水滴が発生。光化学機器への影響が懸念されたため、8月に遺伝子実験室に24時間連続運転が可能な産業用除湿器を整備した。設置後、平均湿度の低下を確認できた。 ・3階動物飼育室（324）内エアコンから水が垂れているとの報告があり、配電盤側の噴出しに遮風材を設置。また既存の除湿器よりも除湿能力の高い除湿器と入れ替え設置を行った。 ・実験機器については日常点検を行った上で、不調等が確認された場合は直ちに設置業者またはメーカーによる対応を行った。 ・職場巡視、化学物質管理委員会、化学物質セミナーを実施し、入居企業や開放機器利用者への化学物質の取扱い、及び実験環境の整備促進を行った。 ・動物飼育室の微生物モニタリングを定期的に行い、SPFグレード相当の品質保証を行った。また遺伝子組換え実験安全委員会、及び動物実験委員会の運営を行い、コンプライアンスに沿った実験施設運営を行った。
事業化支援	・動物飼育施設の管理者として、実験動物の飼養状況の自己点検・評価内容を当該研究機関以外の者が定期的に検証する「外部検証」の準備を進めてきたが、令和6年10月30日に（公社）日本実験動物学会により訪問調査を実施した。結果、基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されているとの総評であり、入居企業の事業化においても信頼性保証の面で担保できた。検証結果はHPに公開した。 ・教育訓練についてマニュアル改訂し、過去に受講した教育訓練の有効期限を3年に定め、継続する場合は再教育訓練の受講を実施した。 ・バイオ産業ネットワーク（木原財団・JBA・LINK-J）を活用し、入居企業の事業推進に有益な情報（グラント・セミナー・研究会等）の提供を行った。 ・バイオ系専門展示会（BioJapan2024）への共同出展を実施し、販路や技術提携等の支援を行った。また本展示会で連携構築できた企業様へ講師を依頼し、人材育成セミナーを開催した（2件）。
その他	・中高校生向けワークショップ＜夏休み実験教室「DNAでアユをさがそう」＞において、定員9名に対し26名の応募があった。令和6年度から中学生も公募に盛り込んだところ、多数の応募があった（中学生8名、高校生18名）。 ・BIO Internation Convention 2024で、ジェトロ（日本貿易振興機構）のジャパンパビリオンでとっとりバイオフィロントニアのプロモーション動画を上映し、広報活動を行った。 ・とりだい病院外来・中央診療棟1階通路壁面展示スペースにとっとりバイオフィロントニア事業紹介パネルを掲示した。 ・とっとり産業未来フェス（鳥取県主催）に出展し、とっとりバイオフィロントニアブースへの来訪者は約800人であった。 ・BioJapan2024で情報交換をした京都リサーチパークの「レンタルラボプラス」にとっとりバイオフィロントニアのレンタルラボの紹介を継続的に掲載。

8 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	利用者の要望、意見については6月に実施した入居企業ヒアリングでの聞き取りや、日々、利用者とのコミュニケーションを図り、要望への対応、課題の解消に努めた。
------------	--

利用者からの苦情・要望	対 応 状 況
研究グループ内の実験進捗管理をするため、機器予約時に、利用者だけでなく実験責任者（グループ長）へメール通知（CC）をしてほしい。	「設定変更」ページを新設（『CC設定（任意）』、『パスワード変更』が利用者自身でできるように機器予約システムを改修した。
BioJapan2024への出展申込をしたいので、それに併せて賛助会員に入会させてほしい。	機構本部の担当部署を斡旋した。
プレートリーダー（Ensign）のR6.5/21に実施したメーカー点検の作業報告書が欲しい。	作業報告書のデータを提供した。
自動セルカウンター（2 階設置機器）の管理についての問い合わせ。	当施設での管理内容、メーカー資料を提供。
現在細胞実験室のベンチの利用者が多く、スイング型の遠心機の利用が大変込み合っている。もう一台設置することはできないか？	スイング型遠心機（小型で安価なもの）を調査。今後の利用状況も含めて検討することとした。
細胞実験室で作業時に1.5mlチューブ等の遠心をしたい時があるが、室外にしかないので、少し効率が悪い。	1.5mlチューブ等の遠心で利用可能な小型冷却遠心機（0419-04）を機器分析室から細胞実験室へ移動した。
3-メチルコラントレンという物質を使ってマウスに腫瘍をつくる実験をしたい。発がん性物質にあたと思うが、施設としての対応を考えてほしい。他施設ではガイドラインがあったりするが、バイオフィロンティアにはないか？別途実験申請は必要か？それとも既存実験計画の「薬物投与実験」の範疇でやってよいか？	当該物質の性質についてSDSシートを参照し、当該物質等の化学発癌物質の取扱いについて他施設および鳥取大学でのガイドラインについて調べた。施設としての対応を協議し、現在計画中の希釈試薬であれば現申請の範疇で実施可能であること、別途原薬を使用する場合は化学発癌実験としてこれを扱い、ケージ滅菌や廃棄物等について安全性に配慮した個別の取扱いが必要である旨、回答した。
熱帯熱マラリア原虫のスポロゾイト（蚊の唾液腺から回収してきたもの）を輸送して使用したい。バイオフィロンティアでのこの扱いについて教えて欲しい。	本件の専門家（鳥大教授）から情報収集し、TBF施設で飼育しても害はないとのこと。今後、本件の動物実験計画が申請された場合、専門家の先生にご意見を徴取することとした。
細胞外小胞等の測定機器について実機に触れるセミナーを開催してほしい。	細胞外小胞等の測定機器についてのセミナーおよび実機体験会を実施した。
超低温フリーザーC（314実験室設置）のR6.8/27に実施したメーカー点検の作業報告書が欲しい。	作業報告書のデータを提供した。
染色体解析専用顕微鏡のフィルターについて。TBFの顕微鏡に付属のフィルターが経年劣化で見えにくくなっているようだ、職員から聞いている。自社で持っている予備のフィルターと同じサンプルを観察し、フィルターを変えるとどの程度見え方が違うのかを確認したい。	メーカーサービス担当者の立ち会いのもと、経年劣化を確認し、フィルター交換を実施した。

高精度分析天秤（1014-00）のR6年度に実施した校正記録が欲しい。	校正証明書のデータを提供した。
動物飼育物品を持ち運ぶのに、かごのようなものを準備してほしい。	委託している動物飼育機材管理業務に依頼、滅菌済のプラかごを用意した。滅菌済のかごは専用の置き場に準備してもらうこととした。
ケージカードが分厚く、繁殖対応などで取り回しが悪い。薄いカードに変更できないか？	厚みが薄いカードに変更した。
鳥大所属内設置の純水製造装置が故障し、購入機種を検討中。参考までに、TBFに設置の機種・仕様を教えてください。	機種、特徴、維持費の概算等について回答した。
倉吉東高校より、環境DNA解析、コメDNA解析、微生物同定実験の実施を検討している。バイオフィロンティアから講師を招聘して実験を行いたい。	了承し、チーフコーディネーターが担当し、実験等の指導を行った。
湯梨浜学園からSSH委員に就任依頼	了承し、チーフコーディネーターが担当し、助言等を行った。

利用者からの積極的な評価	
・大型展示会の装飾が目立ったデザインで来場者の目を引き大変よかった。LEDパネルも見やすく来客への説明もやりやすかった。次年度も是非参加したい。 ・科学ワークショップ「DNAでアユをさがそう」に参加し、マイクロピペットなどの実験器具の使い方、DNAの抽出方法を通し、研究についての知識をつけることができた。とっとりバイオフィロンティア施設内の機器なども丁寧に説明して下さり、非常に興味を引かれた。生物についての探求心が湧いた。このようなワークショップがあればまた是非参加させていただきたい。 ・人材育成セミナーでは、「新技術勉強会」に加え、開放機器を利用する実習の中で、講師に研究内容に沿ったアドバイスを受けることができた。また、他の研究者の応用アイデアを知る機会となり、大変有難かった。 ・動物飼育室の環境整備、機器のメンテナンスやごみ処理、消耗品補充などを行っていただき感謝する。	

9 指定管理者による自己点検

労働関係法令、環境関連法令、建築物の管理に関する法令その他関係法令の遵守状況	☒
協定書（仕様書）、指定管理者募集（又は審査）要項及びその付属資料並びに指定管理者指定申請書の遵守状況	☒

〔成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項〕
●県外との連携 ①沖縄科学技術振興センターの来所 BioJapan2024で情報交換を行ったことを機にとっとりバイオフィロンティアへ視察（12/12）。沖縄県の研究シーズと鳥取県企業の共同研究や人材交流ができる可能性を示唆し、今後も持続して交流をしていく流れが構築できた。 ②京都リサーチパーク㈱のネットワークでとっとりバイオフィロンティアのレンタル施設を継続的に掲示 京都最大級のビジネス・研究開発拠点である京都リサーチパーク㈱との連携で「レンタルラボプラス」へとっとりバイオフィロンティアのレンタル施設を継続的に掲示していただくことにより、日本はもちろん海外からでもレンタル施設の検索対象となるため、認知度向上に期待できる。 ●国外との連携 ①マヒドン大学（タイ）へ訪問 / とっとりバイオフィロンティアに来所 マヒドン大学のラマティボディー病院および工学部を訪問。医工連携事業など、今後どのような交流ができるか意見交換、情報収集をおこなった（7/8-11） 2月にはマヒドン大学からの訪問があった。機構理事長、とっとりバイオフィロンティア研究総監、R&Dコーディネーターらが参加し、意見交換を行った（2/7） ②NTTリサーチ社長（CA）、JETROサンフランシスコ事務所長（CA）の来所 SBRIで招聘講演後、とっとりバイオフィロンティアへ視察および意見交換を実施。NTTリサーチの取り組みをととし、医療用デジタルツインやビッグデータの解析におけるAI活用など、今後業務の効率化など、入居企業への支援に繋がる新たな課題が明確化となった。 ●人材育成 ①染色体工学技術＋リクエスト講座では、関心度が高いAIやバイオインフォマティクスの話題を取り扱い、多くの受講があり好評であった。 ②バイオテクニシャン養成講座では、実験スキル向上と先進機器を使用した新規技術の習熟できる「新技術勉強会」が好評のほか、施設内の開放機器の実習や、講師による研究相談会も大変好評を博した。 ③中高生向け科学ワークショップの開催については、令和6年度から中学生も公募範囲とし、上限募集9名のところ26名の応募があった。参加者は研究や生物への探求に関心をもつことができ、またの機会にも参加したいとの要望があった。公募ワークショップをきっかけに個別に高校から個別実習やメンタリングの依頼が増え、コーディネーターが指導、助言し対応した。 ●施設整備 ①近年の地球温暖化により、夏頃に開放実験室及び館内の複数個所で結露による水滴が発生したため、光学機器を設置している遺伝子実験室に産業用除湿器を整備した。設置後、平均湿度の低下を確認でき、効果を発揮できた。 ②動物飼育室でも大量の水滴やカビの発生を確認したため、既存の除湿機より除湿能力の高い除湿器を入替設置した。 ③最先端の研究所や大学で採用されている病理組織標本作製法で有名な「川本法」を取り入れる為、高機能クリオスタッドを導入した（基金）。専用の粘着フィルムを使用し、初心者でも高品質の凍結切片が作製でき、利用者にとって多くの研究目的に使用できる。 ●PR活動 ①BioJapan2024での展示、パートナーングシステムで情報交換し、PR活動を行った。 ②BIO Internation Convention 2024（サンディエゴ）で、ジェトロ（日本貿易振興機構）のジャパンパビリオンでとっとりバイオフィロンティアのプロモーション動画を上映し、広報活動を行った。 ③とりだい病院外来・中央診療棟1階通路壁面展示スペースにとっとりバイオフィロンティア事業紹介パネルを掲示し、一般の方にも広く周知活動を行った。 ④とっとり産業未来フェス（鳥取県主催）へ出展し、パネル展示、フォトブース、バイオに関するスケルトンパズルを行い集客し、ブース立ち寄りには約800人であった。

〔現在、苦慮している事項〕〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕
〔現在、苦慮している事項〕 ・施設内の湿気（結露・カビ）対策 ・開放機器等の更新 〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕 ・国内外展開への支援（染色体関連企業への展開支援など） ・バイオ産業のすそ野の拡大（バイオ・医工連携など） ・様々な専門家を招いての最新のバイオ研究に関するセミナーの開催 ・県内中高生に向けた科学ワークショップやメニューの拡充

10 施設所管課による業務点検

労働関係法令、環境関連法令、建築物の管理に関する法令その他関係法令の遵守状況	☒
協定書（仕様書）、指定管理者募集（又は審査）要項及びその付属資料並びに指定管理者指定申請書の遵守状況	☒

項 目	評 価	点 検 結 果
〔施設設備の維持管理・緊急時の対応等〕 ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
〔施設の利用の許可、利用料の徴収等〕 ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免の実施	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
〔その他管理施設の管理に必要な業務〕 ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) 利用者の要望に応じ、予約システムを改修するなど利用環境の改善に取り組んでいる。また、利用者からの感謝の声など、利用者側の評価が高いことも伺える。

〔利用者サービス〕 ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) (公社)日本実験動物学会による「動物実験に関する外部検証」結果をHP上に公表しており、総評の中で適正に実施されていると評されている。
〔利用者総合支援業務の実施状況〕 ○利用者の研究開発及び事業化推進 (事業計画、進捗状況把握等) ○利用者のニーズ把握、情報提供 ○人的ネットワークの構築 ○事業運営委員会等の運営	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) バイオ系専門展示会(BioJapan2024)への共同出展を実施し、販路や技術提携等の支援を行った。また本展示会で連携構築できた企業様へ講師を依頼し、人材育成セミナーを開催するなどネットワークの活用を積極的に行っている。 県内外の展示会に出展し、バイオフィロンティアのプロモーションや施設の設備が利用できることの広報を積極的に行っている。
〔バイオ人材育成事業の実施状況〕 ○人材育成カリキュラム作成・研修実施 ○広報等 ○事業評価、ニーズ把握、効果検証	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) 従来の高校生向けワークショップでは募集対象を中学生からに拡げること、若いうちからバイオに関心を持ってもらう等の工夫がみられた。 バイオテクニシャン養成講座では、受講者のスキル向上と先進機器を使用した新規技術の習熟に効果があり、「新技術勉強会」に加え、バイオフィロンティア内の機器を使った実習も開催し、好評を得ている。
〔収入支出の状況〕	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
〔職員の配置〕 ○事業全体の総括責任者 ○染色体工学技術を中心としたバイオテクノロジーに関する専門知識を有する者 ○動物飼育に関する経験者 ○利用者の要望に応えられる体制	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
〔会計事務の状況〕 ○不適正事案や事故等の有無 ○業務報告書(月次)における内部検査結果 ○利用料金等に係る適正な会計事務 (利用券、利用券管理簿の管理など) ○必要な規程類の整備 (会計規程、協定書等で整備が定められている規程など)	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
〔関係法令の遵守状況〕	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
総 括	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。

《評価指標》 5：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画・目標を上回る実績があり、
4：協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。
3：おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
2：協定書の内容に対して不適切な事項が認められ、また、計画・目標を達成していない。
1：協定書の内容に対して重大な違反事項が認められる、指摘済みの不適切事項が放置されている、
※総括欄は、各項目の平均の小数点以下第2位を四捨五入した数値を基本に、総合的に評価する。